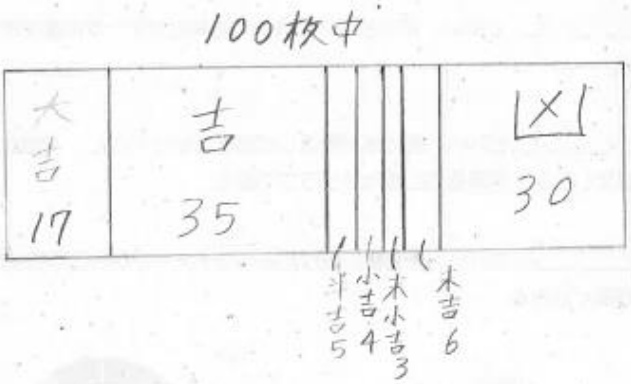
授業の流れシート（指導案を作成していない場合は、こちらに記入お願いします。）

単元名 （+教科書名）	数学 「資料の活用」 身の回りの課題 啓林館　未来へ広がる数学
対象学年	1 年
授業実施日	2019 年 3 月 6 日
事前の準備	学校司書に依頼して，チラシや折り込み広告，インターネットで掲載されている「誤解を招きやすい」グラフを収集・整理しておく。ラミネートしておき，2 人で見ることができるように各班に同じ資料を 2～3 枚用意しておく。
当日の内容	導入 　円グラフ，帯グラフ，などのグラフの種類と特徴を確認する。 展開 　各班にＴＶや広告に掲載されている誤ったグラフや誤解を生じさせやすいグラフを配布する。 　学校司書が批判的な見方について説明する。 　班でそれぞれのグラフの誤りを指摘する。 まとめ 　誤りを直し，正しいグラフに書き直すことで，誇張されたグラフに込められた意図を推測する。 　他の班の意見も参考にし，感想を書く
シート記入者名	田中　慎一

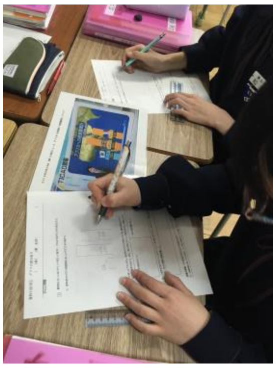
3 数学的に正しくないポイントを正しく直すと，どのようなグラフができるだろう。

(1) 配布されたグラフを数学的に正しいグラフに作り直そう。



(2) 作り直したグラフから，配布されたグラフが言いたくない事実は何だろう？
班で意見をまとめよう。また，ほかの班にポイントを伝えながら，説明しよう。

自分たちの班のポイント	ほかの班が調べたこと
凶がでやすいことを伝えようとした事 そこまで凶がでなかったらグラフ内での割合を大きくした。	

(3) 「配布されたグラフ」のポイントと「作り直したグラフ」のポイント，ほかの班が調べたことを合わせて，今日の授業の感想を書こう。

言いたくない事実をかくすためにグラフの割合をかえたり、円の中心をずらしているなんてちょっとこわいと思いました。